

最前線レポート

国立高専では、国際化気運の高まりを受け、学生を海外へ派遣することに力を入れています。本校も同様に海外学術交流協定校を増やし、海外とのつながりを強くするなど、学生の海外派遣を積極的に行っています。

今回の最前線レポートでは、海外で自分の意見を述べること、協力してものごとを進めること、異文化交流を体験した学生の取り組みについて紹介します。

学生の  
の  
国際経験



▲サザンクロス大学  
アカペラグループとの交流

【用語】

海外インターンシップ:

国立高専が一体となって学生を海外に拠点のある企業へ派遣するプログラム

ISTS, iGO:

高専機構として協定を結ぶ海外の大学にて行う学生の研究発表会

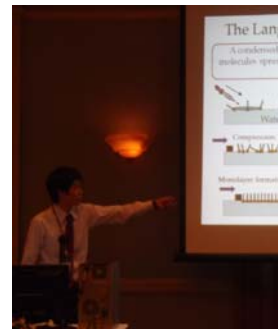


海外インターンシップ  
に参加して

生物応用化学専攻 1年  
中原 望

3週間フィリピンのツネイシホールディングスで研修を行いました。ガス溶接などの実習や船舶の製造工程について学び、異分野の研修において自分の専門知識をどこで生かすかを毎日考えながら臨みました。研修を通して技術者として幅広い知識を身に付け、専門性を高める必要があることを実感しました。

会社では積極的に挨拶を行い、現地のワーカーと非常に良い関係を築き、現在も交流があります。他高専の仲間とともに切磋琢磨して成長できた素晴らしい機会でした。



国際シンポジウム ISTS  
(タイ王国)に参加して

生物応用化学専攻 2年  
岡部 拓也

11月末、タイ・バンコクでの国際シンポジウムISTSにて研究発表しました。中国人研究者から質問を受け、英語で意思を伝えるのに苦労しました。参加学生はみな各高専の代表として非常に積極的に交流を行っており、刺激になりました。

また、懇親会での現地学生による伝統舞踊やアユタヤ建築研修での遺跡見学で、タイの伝統文化に触れ、異国情緒を感じることができました。



日台 iGO  
シンポジウム (台湾)  
に参加して

生産工学専攻 2年  
伊藤 龍一

私は、昨年12月に日台iGOシンポジウムに参加しました。全国の高専からと台湾の学生各30名ずつが参加し、環境と福祉をテーマに、英語でのプレゼンを行いました。

私は英語が全く話せませんが、発表や、現地の人と交流することで、一生懸命伝えようとするれば、伝わるものだと実感することができました(もちろん、事前準備の努力は怠りませんが...)



サザンクロス大学  
短期語学研修に  
参加して

電気情報工学科 4年  
吉川 敦盛

私は本研修で積極的にコミュニケーションをとるよう努めました。その結果、最初は単語とジェスチャーのみだったのが、次第に英会話ができるようになりました。

また、本研修を通してホストファミリーだけでなく、他学年、他高専の人とも交流を深める事ができました。この経験と交流が今回だけのものにならないように、さらに英語に関わり、さらに友情関係を築いていきます。